



GLION GROUP

RevenG 39

バリューチェーン事業本部長 菊地秀武



GLION GROUP

(単位:百万円)

上期振り返り

上期累計	計 画	実 績	達成率	差 異
經常利益	651	665	102.1%	+14

下期計画



計 画	下期計画	通期計画
經常利益	1,042	1,707



GLION GROUP

事業本部長メッセージ

バリューチェーン事業本部は、前期上期及び下期に続き、今期上期も連続達成となりました。

上期においては、コロナ禍における販売不振から下取り車減少による需給バランスの崩れ（売り手市場傾向）を卸売り事業部が的確に風を捉えるかたちとなり計画オーバー達成。またオンリーワンのモノづくりから競合を回避し、WEB通販にも乗り出したアフターパーツ事業部も、計画オーバーにてバリューチェーン事業部の上期達成に大きく貢献しています。

下期に入り、第二四半期の急速な戻り基調から一段落にてコロナ第三波への懸念もさることながら、バリューチェーン事業部は、上期達成の勢いをそのまま下期に継続すべく、下期は期首の計画通り経常利益10億4,236万円、通期目標17億765万円に向け取り組みます。バリューチェーン事業部の役割は、グループ各社と連携し、付加価値を創造することです。【差別化がしやすく】、【売りがやすく】、【利益が取りやすい】をテーマに、事業部を超えた連携強化にて競争優位に進めていきたいと考えています。バリューチェーンの目指す価値は、 $1+1=2$ ではなく $1+1=4$ の世界です。

コロナ禍における向かい風を【付加価値】でかわしながら【RevenG39】の達成に向け邁進してまいります。

バリューチェーン事業本部長 菊地秀武



上期振り返り

4月、5月はToB・ToCそれぞれの分野において、新型コロナの影響により、人の流れ・モノの流れが一時的に止まったことより、中古車販売台数、整備在庫台数、事故修理台数、流通台数の減少等、様々な影響を受けた。オークション市場の出品台数も減少し、更に国内外業者の買い控えの中、在庫を保有していた卸売部門においては、事業部を支える収益を確保した。コロナ禍の中でも、各社においてコスト削減・利益効率の改善・仕組みの改善を行い、その効果と並行し、徐々に人の動き・モノの流れが回復傾向に動き、上期では計画対比102%、前年対比105%の着地となった。

下期アクション

- ✓ G保証の積極獲得及び保証商品の追加・拡大により、3,800万円の確保
- ✓ 更なるコスト削減（5.2%⇒5.5%へ上方修正）により、2,500万円の確保
- ✓ トラスト社のコンプリートカー、キャンピングカー等の販売により、90台・5,400万円の確保
- ✓ OS社のデフ販売により、500個・4,500万円の確保
- ✓ 付帯収益（コーティング・添加剤等）UPにより、2,500万円の確保
- ✓ フリート業販・小売により、2,500万円の確保
- ✓ レンタカー保険代車により、2,500万円の確保